

2016年7月4日月曜日

ものづくり通信

第134号

大阪府ものづくり振興協会

大阪府中央区本町橋2番5号

電話・06-4792-7849

新会長挨拶（総会時挨拶抜粋）



6月9日の総会で新会長に任命されました日本カーペット工業組合副理事長の池崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は大変お忙しい中、多数の皆様方のご参加をいただきまして誠に有難うございます。特に、ご来賓の近畿経済局坂本課長様また大阪府より三枝次長様はじめ多くのご来賓の方にもご出席いただきまして有難うございます。

また、春の国家栄典に於いては受章されました3名の方にもご臨席いただいております。

さて、当ものづくり協会は98の組合、傘下企業数は約7,000社にもなる大きな協会であります。

私は、この大阪が発達してきましたのは、ものづくりからの基盤が出来たのではないかと考えております。特に、我々中小企業は大企業と比べ多くの工場を長期にわたって維持してきたことを誇りに思っているのではないかと考えております。今後も、もの協会長として、皆様方と共にこの協会を中心に、そして事業の一つの目玉であるOSAKA-MONO. Netを進め、多くの皆様に参加していただき、活用することで、大阪のものづくりを益々発展させて大阪の発展に尽くして頂きたいと考えております。

経産省の皆様や大阪府の皆様の多大なご支援や会員皆様方のご支援をいただけたらと考えております。

最後に、皆様のご組合および企業の益々の発展と、今日お集まりの皆様方のご健勝とご多幸をお祈りしまして開会の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



6月9日（木）第13回通常総会



第2回理事会の後、第13回通常総会が去る6月9日（木）午後5時30分より会員93名（委任状含め38名）出席のもとにヴィアール大阪にて開催され、議案が全て議決承認されました。



理事会



総会

総会終了後、午後6時より懇親会を開催し（総勢82名）、池崎新会長の開会挨拶後、

近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 坂本様より、



本日は、大阪府ものづくり振興協会通常総会が滞りなく終了されましたこと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より経済行政につきましてご協力いただいておりますことに対しお礼申し上げます。

さて、我国経済は原油価格の下落等を背景にゆるやかに回復基調にあり、業種、業態にもよりますが政府としても更に安定回復を目指すため、様々な政策を提案しております。生産性向上の為に設備投資政策とか、この度の税制改正に導入されております固定資産税の優遇処置等を通して中小企業の設備を促進すると共に、成長戦略の実行と産業構造の変革による日本経済の再生に積極的に取り組んでおります。

私共近畿経済産業局としても、このような政策を通して地域経済の発展に取り組んで参りたいと考えております。

さて、5月20日に平成27年度「ものづくり白書」が制定されました
 この中で、色々なものづくりの状況を分析しております。我国製造業の状況、ものづくり産業の対応状況と課題、労働生産性の状況や女性の活躍促進等広い分野について分析しております。拡大が見込まれる分野がある一方で、いろんな制約が妨げとなる分野もあり、国内事業としても様々な課題が存在することも認識しております。更に、付加価値がものからサービスへ移る中、ものづくり企業には市場変化に対していち早く経営革新を進め、ものづくりを通じて価値づくりを進める企業に対して分析をしているところであります。

あらゆる課題解決に対して、引き続き皆様と一同となって活躍が進んでいくことを期待しております。

結びになりますが、ものづくの協会の益々のご発展と本日お集まりの皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申しあげましてご挨拶とさせていただきます。本日はまことに有難うございました。



次に 大阪府商工労働部次長 三枝様より、祝辞を頂きました。

大阪府ものづくり振興協会 第13回通常総会が盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。また、皆様には、日頃から、大阪府政の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、御礼を申し上げます。

貴協会におかれましては、府内のものづくり企業の業界団体の連合組織として、団体業種の枠を超えた交流・連携を深め、大阪府の商工施策と一層の連携を図ることにより大阪産業の振興と発展に大きく貢献されてこられました。これまでの皆さま方のご尽力に深く敬意を表します。

さて、昨今の大阪の経済情勢は、個人消費や有効求人倍率は上昇しているものの、海外景気減速の影響から、景気回復の動きが弱まっており、引き続き注意が必要な状況にあります。

こうした状況の中、大阪府では、「大阪府中小企業振興基本条例」に基づき、経済を好循環させるべく、大阪産業の重要な担い手である中小企業への、資金・経営・技術、さらには人材面に渡る支援を実施しているところです。特に、将来の大阪経済を牽引する「新エネルギー」や「ライフサイエンス」の分野を中心に、新たなビジネスの創出や、中小企業の参入を促進させる取り組みを進めております。

また、ものづくり企業への支援については、ものづくりの総合支援拠点である「MOB I O」において、ビジネスマッチングや販路開拓、知的財産活用の支援に取り組んでおります。さらに、「産学公民金」の各種支援機関とのネットワークを構築する「EG（エコノミックガーデニング）おおさか」を展開するとともに、「府立産業技術総合研究所」において、企業ニーズに応じた様々な技術相談や支援を実施しているところです。

今後とも、中小企業が新たなビジネスにチャレンジできる環境の整備に取り組み、大阪経済の活性化に全力を注いでまいります。

皆様には、引き続き、大阪府政の推進に、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と、会員団体及び団体加盟企業の皆さまのご繁栄を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

続いて、平成28年度春の国家栄典受章者の紹介、記念品の贈呈が行われました。



石橋氏 謝辞



旭日双光章 外海 達氏（代理受理）
 黄綬褒章 石橋 久和氏（左写真）
 黄綬褒章 平田 富義氏（代理受理）
 が参列され、石橋氏が代表謝辞をされました。



大阪府立産技総研
 古寺理事長 乾杯挨拶



吉田新相談役・池崎新会長・森澤相談役

続いて、大阪府立産業技術総合研究所 古寺理事長様の乾杯で祝宴がスタートし、歓談の後、佐々木前運営委員長の中締め挨拶でお開きとなりました。



協会だより



NEW

家庭常備薬、健康管理用品の特別斡旋事業

ご協力ありがとうございました。次回は10月に行う予定です。
よろしくお願いいたします。

今後のスケジュール

7月20日(水) OSAKA-MONO.net 会議 16:00~
8月4日(木) 第2回運営委員会 15:00~ 大阪市中央区民センター:後日案内いたします。
10月1日(土) もの協杯 ゴルフコンペ (泉が丘ゴルフクラブ):後日案内いたします。

事務局だより

- ・会費を納入していただけていない方は、ご確認いただき、入金の日ほどよろしくお願いいたします。
- ・今年度も、ゴルフコンペやセミナーを増やし会員同士の交流の場や、部会活動を積極的に行いたいと思いますので、是非ご参加下さい。

平成28年度 役員が新たに選任されました。よろしくお願いいたします。

役職名	氏名	所属組合	部会
会長	池崎 博之	日本カーペット工業組合	繊維・ファッション
副会長	木村 俊雄	(一社)大阪溶接協会	機械金属
副会長	西澤 吉樹	印刷インキワニス工業会	生活・化学
副会長	植野 和雄	泉州織物工業協同組合	繊維・ファッション
理事	中野 雅司	大阪メンズアパレル工業組合	繊維・ファッション
理事	森口 和信	日本毛布工業組合	繊維・ファッション
理事	水本 恵造	大阪ニットファッション工業協同組合	繊維・ファッション
理事	福岡 精一	大阪ハンドバッグ協同組合	繊維・ファッション
理事	荒井 敏博	日本輸出縫製品工業組合	繊維・ファッション
理事	夏山 享啓	(一社)大阪金属プレス工業会	機械金属
理事	森脇 隆	大阪府鍍金工業組合	機械金属
理事	葛村 和正	西部金属熱処理工業協同組合	機械金属
理事	後藤 晴雄	(一社)日本ねじ工業協会関西支部	機械金属
理事	桑田 泰彦	大阪府シートメタル工業会	機械金属
理事	田邊 香	(一社)大阪硝子工業会	生活・化学
理事	作道 孝行	大阪府印刷工業組合	生活・化学
理事	塩谷 嘉太郎	大阪府紙器段ボール箱工業組合	生活・化学
理事	嶋田 誠	堺市化学工業団地協同組合	生活・化学
理事	谷口 啓司	全日本プラスチック工業協同組合	生活・化学
監事	植田 泰央	(協)西日本帽子協会	繊維・ファッション
監事	出向井 康司	大阪建築金物工業協同組合	生活・化学
相談役	森澤 嘉昭	近畿印刷産業機材協同組合	機械金属
相談役	田中 義治	近畿鍛工品事業協同組合	機械金属
相談役	吉田 忠次	大阪府印刷工業組合	生活・化学



組合紹介 第20弾

【組合案内レポ Vol.36】

(一社)日本試薬協会

所在地：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-4-18
昭和薬貿ビル3F

設立：昭和23年3月
組合員数：121社



小島副会長（取材当時は会長）

●歴史

昭和23年3月に社団法人全国試薬協会設立総会、同時に名称を全国から西部に、地域を愛知県以西に変更し、6月に社団法人西部試薬協会が設立許可を受けたことに始まります。そして、平成10年5月の設立50周年記念式典終了後の同年12月の理事会において東西両試薬協会の統合に向けた活動が決議され、平成12年3月24日に同じく昭和23年3月設立の社団法人東部試薬協会（設立時名称は日本試薬協会）と統合し、全国組織となる日本試薬協会を設立、現在に至っています。

●活動

事務局は東京にあり、合併以降16年間のうち会長職は東が12年間、西が4年間とやや東に偏っていますが、毎年恒例行事である賀詞交歓会と通常総会に関しては、交歓会は東京、通常総会は大阪と、開催地を決め東西のバランスを取っています。組織としては、理事会の下に7つの専門委員会を設け活動しております。委員会の中では、取扱商品が特殊な化学薬品であることから、JIS等の関係上規格委員会の活動が活発なことは当然ですが、現在、対外アピールを重要視する観点から広報委員会に力を注いでいます。

試薬を一言で定義することは大変難しく、一般の方に理解していただくことが容易ではないことに加え、参加会員企業で必要とされるライセンスである薬剤師の卵である薬学部の子供の方々にさえ、この業界の存在自体が、あまり知られていないのが現在の状況であることを踏まえ、広報委員会の活動を業界全体のリクルートにも役立てたいと考えています。また、昨年度が協会発足15周年にあたることから、これを記念して試薬の日を制定しました。日本で初めて試薬という言葉を使った津山藩医で幕末の蘭学者であった「宇田川榕菴」（うたがわようあん）の生誕日に因んで3月9日（1798年）としました。シーボルトとも親交の深かった宇田川榕菴は試薬一覽の「舎密（せいみ）試薬編」を著し、後に欧州の化学書を翻訳した「舎密開宗」（せいみかいそう）では、試薬使用の凡例にかなりの試薬をあげて、その使い方や注意を記しています。舎密（せいみ）とは、化学を意味するオランダ語の「Chemie」の音訳であります。試薬を始めとして、酸素、水素、窒素という元素名や酸化、還元、分析といった日本における化学用語のほとんどは宇田川榕菴が考えたと言われています。協会としては、この日を通じて試薬の啓蒙に努めてまいります。

試薬は、検査、試験、研究、実験などにおいて用いられる少量使用に適した供給形態の化学薬品であり、一般人が入手困難なものが多いのですが、ノーベル賞の中で化学賞や生理学・医学賞の日本人受賞者が、2000年以降だけでも7人に上ることへの貢献は勿論、「縁の下の力持ち」として「日本の化学技術を支えている」という自負が我々業界にはあります。

【組合案内レポ Vol.37】

印刷インキワニス工業会

所在地：〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-8-9
大阪塗料会館5階

設立：昭和23年6月3日
組合員数：28社



西澤理事長

●概要

昭和23年6月に関西を中心とした印刷インキ製造会社が工業会を設立いたしました。当初は印刷製版材料の関係会社も同じ事務所で活動しておりましたが、現在では印刷インキ製造会社に限定した工業会となっております。

日本の印刷は、木版印刷から銅板 石版へと移りさらに明治に欧米から輸入された金属活字を利用した 活版印刷が始まります。大戦後からは平版（オフセット）印刷が主流となりました。現在の印刷関連業界はIT関連の伸びによって厳しい状況になっており、世界でも先進国では印刷関連市場は減少傾向にあります。食品包装などではグラビア印刷が多く利用されており、グラビアインキは出荷量 金額ともに首位となりました。印刷技術は応用範囲が広く 古くから大量生産 微細加工などに利用され半導体などの製造に貢献しています。インキの製造は化学の応用であり、使用する現材料には様々な注意が必要となります。

東京の印刷インキ工業会と連合会を作り、技術委員会では重要な三専門委員会を作り、環境 食品衛生 製品安全の三委員会 で自主規制（NL）などが行われています。関連材料の調査や様々な印刷会社への情報提供を工業会が中心になって行っています。大阪の工業会では役員会・技術委員会が毎年の行事として工場見学会 春秋の技術講演会を開催しています。東西交流では役員懇親旅行 技術委員会では東西の合同勉強発表会などを行っております。ところで日本の印刷インキ製造会社は、海外子会社を合わせて計算すると、世界の5割以上のシェアを誇ります。飛びぬけた大きな会社の御蔭ですが、これほど日本企業が世界をリードしていることは、めったにはありません。最近の印刷には様々な種類がありレーザー・インクジェットなどの印刷がさらに身近になると思います。印刷はその国の文化のバロメーターとも言われます。工業会では今後も安全で安定した高品質の印刷インキ関連製品を提供できます様、会員会社と連動して業界の発展と社会への貢献を目指して活動していきます。印刷インキに関するご相談や質問はいつでもお受けいたしますので、工業会事務局に御遠慮なくご連絡ください。

